

広報

ひがしの

191号
6月1日号

特集

着任して2ヶ月 新東野振興事務所長に聞く

東野開発振興会総会の報告

老若男女が「つどい・つながり・学ぶ」活動

東野の人口 1625人 男:828人 女:797人 644世帯
4月1日との比較 総人口:+2人 男:+2人 女:±0人 ±0世帯
令和6年4月1日~令和6年4月30日の東野の出生数 男:1人 女:0人 (恵那市全体 20名)

写真は東野史跡巡りウォーキング開会式の様子

渡邊静香 新東野振興事務所長にインタビュー

着任して2ヶ月

誰一人取り残さない、 共に生きるまち東野を目指して

自己紹介をお願いします

この度、東野振興事務所長を務めさせていただくことになりました。東野から居を移したこともあり、東野の内と外の目線、つまり両側から東野を見ることができると考えています。今までは夏祭りなどの行事に参加する程度でしたので、改めて東野の地域を深く知る機会と思い、皆さんと一緒に地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。私が大切にしている言葉や考え方は「なんとかなる」「チーム力で乗り切る」です。趣味は梅干作り、山菜採りです。加工して進呈することを楽しんでます。「地域の皆さんの拠り所になる振興事務所」を目指し、微力ではありますが精一杯務めます。どうぞよろしくお願いたします。

東野地域の良さは？

自然が豊かで、人がいいところです

一言で表現すると「自然が豊かで人がいい。」ということですね。

東野振興事務所長として着任後、まちづくり、教育・文化の面で活躍されている諸先輩方が、私に伝えておきたいと連日事務所に来て下さり、その点においても地域に対する情熱と人の良さを感じました。

また、ある行事への参加協力を複数の団体に声をかけをしたところ、一気に目標を超える参加者を集めていただけた協力体制も素晴らしいと思いました。

「東野のよさを知っており、大切にしたい」と考えている子が100%近くもいること

小学校では今、ふるさと教育に力を入れており、昨年度のアンケート調査では、「東野の良さを知っており、大切にしたい」と考えている子どもが96%、この三年間で20%増えたと聞いています。子どもたちが東野の良さを知っているということは、将来東野に住み続ける要素はあるということですね。一度は東野から出て、いずれは東野に戻ってきてくれるのではないかと考えています。ふるさと教育には地域の大人が複数関わってくださっているとのことですね。東野の良さを知っている子が多く育つているところも地域の良さだと思っています。

また、子どもたちは挨拶ができて（健気）けなげで、まっすぐ育っているところにも東野の魅力を感じています。

所長が目指す 地域づくりとは？

ウェルビーイングの地域づくり

ウェルビーイングという言葉があります。身体的・精神的・社会的に良好な状態で幸福感や満足感を感じ





3/18 東野小学校体育館改修業者への感謝の会
東野小学校の大規模改修が行われ、冷暖房完備の新たな体育館になりました。



4/6 東野生産森林組合 愛林祭
東野の各団体の代表者を招いて、森林を生かした産業を始めた先人に感謝しました。



4/6 東野開発振興会 戦没者慰霊祭
御霊を追悼し、平和を祈念する慰霊祭が新型コロナ流行前と同じ規模で行われました。



4/8 東野子ども園入園式
令和3年度に東野で生まれた子は4人でしたが、入園したのは1人でした。



4/9 東野小学校入学式
東野子ども園を卒園した子は6人でしたが、10人の児童が入学しました。

少子高齢化対策、三世代対策、働く親さんを支援する取り組み

ている状態を表します。SDGsの三つ目には「すべての人に健康と福祉を」とありますが、私は東野の住民の皆さんが本当にウエルビーイングであることを願い、「誰一人取り残さない、共に生きるまち 東野」というコミュニティづくりを目指したいと考えています。

乳幼児学級、こども園から始まって壮健クラブ（東雲会）まで、たとえ一人になっても大丈夫といった東野にしていきたいです。そのためには、行政の福祉の力も必要ですが、地域の力で支え合える地域づくりを進められたと考えています。

核家族や敷地内別居を否定するわけではあり

ませんが、高齢世帯や子育てで困っているところを地域で補う少子高齢化対策、三世代対策にも力を入れたいです。例えば、夏休みに三世代ラジオ体操を行ったら、どうかということ。昔は、夏休み期間中は、ラジオ体操の後にお寺に集まり、お経を唱えるようなこともありましたが、ここでは、親世代もお年寄りも子どもたちに関わるといったコミュニティが生まれていました。地域の方々が子どもと関わることで、働く親さんたちを助けられないかと考えています。

阿木川ダム湖畔やふれあい広場・保古の湖やほたるという観光資源を生かしたい

冒頭に東野のよさとして「自然が豊か」という言葉を言いましたが、東野の観光資源を東野の方々が意

識していただけたらということ。地域の皆さんと共に観光資源のよさを発信していくことにも力を入れて行きたいです。その第一弾として6月8日(土)に阿木川ダム湖ふれあい広場の誕生を記念して、オープニングイベントを開催します。キッチンカーや地元フード、ハンドメイド作家によるマルシェ、大型トランポリン、クラシックカー展示などを行います。皆さまのご来場をお待ちしております。



5月6日(祝)のプレオープンの様子

令和5年度 東野開発振興会

総会の報告

会員419名・出席者52名・委任状320名

4月26日(金)に小坂喬峰恵那市長、千藤安雄恵那市議会議長・渡邊静香東野振興事務所長を来賓に迎え、東野コミュニティセンター大会議室で令和5年度の東野開発振興会総会が午後7時から約1時間行われました。総会への出席率が会員数の約13パーセントでしたので、「広報ひがしの」で配布された総会資料にない部分を紹介します。保母鎖利東野開発振興会会長は主に議事終了後の連絡事項の内容、小坂喬峰恵那市長は挨拶の内容を掲載します。

新たな東野開発振興会への2つの提案

保母鎖利 東野開発振興会会長

ふれんどりー阿木川湖跡地利用について

ふれんどりー阿木川湖跡地にキッチンカー3台設置できる場所を東野開発振興会で受け持つてやる形になりました。5月5・6日に仮オープン、6月8日(土)に正式にオープンセレモニーを開くという形で行います。跡地を使いたい業者などはネットから申し込んで出店料をいただく形をとります。自動販売機の売り上げも合わせて開発振興会の収入にしていきます。キッチンカーの出店は登録制ですので、誰もができるというのではなく開発振興会で審査します。

自治会の再編成や次期会長は理事の互選で選出したい

開発振興会役員の推薦委員の方に大変な負担をかけて役員を決めるというやり方を現在行っています。以前は東野森林組合のように東野開発振興会の理事の中から互選(選ばれた関係者の中から役に就く人を互いに選ぶ)やり方で行っていましたので、そうしたやり方に戻すのもいいのではないかと考えています。今後は仕事を持ちながら会長職や副会長職をしなければいけませんので、会長職の仕事の分担も考えて行かなければいけません。少子高齢化なので自治会の再編成をして、一人一役を担うような仕組みも考えていくように来年の総会には提案していけたらと考えています。

人が憧れる東野へ

小坂喬峰 恵那市長挨拶

東野はコミュニティのモデル

東野は地域の皆さんが振興会費という形でお金を出し合って、それで地域の色々な催しをすべてやっていくというのは、恵那市の中でも他にあまり例がありません。私は地域のコミュニティをつくるには非常に有効ではあるし、いい形じゃないかと思っています。特に今は自治会の在り方とか自治会に入らないとかいろんなことが取りざたされている中、東野のモデルというのは恵那市の中でも胸を張っていいコミュニティのモデルだと思っています。ご協力いただいている皆様と役員の皆様方に本当に感謝申し上げます。

東野小学校校体育館を冷暖房完備

東野小学校の体育館は大規模改修と合わせてリニューアルをしました。GHP(ガスヒートポンプ方式)でプロパンガスで発電をして、その発電した電気でエアコンを動かしてヒーターも冷房もできます。そして電気もすべてLEDにしました。令和6年度は市内全小学校の体育館にエアコンが付くということですが、万が一災害が起きたときは、体育館が避難所になりますので、寒い時はヒーターが効き、暑い時はエアコンが効くということがスタートしました。おそらく岐阜県下ではほとんどがやっていない取り組みです。

秋には今年もWRCラリーが東野にもやってきます

今年の秋も東野はおそらく根の上高原をはじめ、走ることになろうと思います。1日中恵那で楽しんでいただくように仕組みますので多くの皆さんに楽しんでもらえると思っています。多くの皆様にお越しいただき、地元の皆さんにも楽しんでいただけるような取り組みに努めていきたいと考えてます。

ふれんどりー阿木川湖跡地を新たに楽しんでいただける場所へ

ふれんどりー阿木川湖跡地に少し手を入れることになり、新たにリニューアルをして、この春か夏ぐらいからスタートすると聞いています。大変地元の皆様にはご協力とご理解をいただきましてありがとうございます。まずは、この跡地を多くの皆様に楽しんでいただける場所になるといいなと思っています。

阿木川の川向こうの長島町正家が開発され、これから東野の方にもずいぶんいい

影響が出て来ると思います。いい意味で人が憧れる、そんな東野になるといいな

あと私も一人の東野の住人として思っています。



老若男女が 集い、学び、 支え合う

東野は恵那市の中心部から近く、警察署・消防署・市役所や図書館はじめ様々な公共施設からも近く、アクロスプラザをはじめ大型店舗からも近い。そして病院も近い。火事が発生すれば短時間で消防署から消防車が到着することでしょう。急病になったときもすぐに救急車が到着することでしょう。日常では何不自由なく過ごせる地域です。

しかし、東野地域は危機感が住民になく、いち早くコミュニティとしての機能がなくなり、大きな災害時に対応できない地域だと言われることもあります。

自然災害などは広範囲で被害が発生します。広範囲で被害があった場合に対応できるのは近くの住民です。助け合えるのは、支え合えるのは小さなコミュニティの仲間です。

新型コロナが昨年の5月8日に5類に移行され、いろいろな地区の催し物が昨年から再開していますが、「つどう・つながる・学ぶ」という面では大きな課題が東野地域にはあります。

企画第1弾

東野史跡巡りウォーキングに

94人
（※ 昨年の2倍以上）

支え合うコミュニティは地域を知ること、地域に暮らす人を知ることから

各団体や組織がコラボして企画を実施

今年度の東野地域のイベントのいくつかは、各組織や団体がコラボ企画として行っています。5月11日(土)に行った東野史跡巡りウォーキングもその一つです。東野の歴史や文化に詳しい市民三学東野委員会の方々が史跡の解説や場所を案内し、東野体育協会がウォーキング指導を行いました。東野子ども園育友会や東野小学校子ども会育友会が保護者や子どもたちに参加の呼びかけを行いました。東野東雲連合会の総会でも史跡巡りのチラシが配布されました。

各団体や組織がコラボをすることで、企画を行う予算

面でも効果がありました。史跡巡りウォーキングでは先着100名におやつのお詰め合わせを配布し、参加者全員にも恵まれ、3歳から88歳までの94名が集い、交流し、学び合う企画が東野の地でできました。東野体育協会の方は高齢の方に寄り添ってゆっくりと一緒に歩いていただきました。市民三学東野委員会の史跡の解説をしてくださった方は、事前に子ども園の園児にも分かるように解説を工夫されました。青少年育成会議では民生児童委員の方々が参加された家族の様子や子供たちの様子をお話をあたたかく見守っていたというように東野の3世代が集った企画でした。

3世代で東野の歴史や文化を学ぶ

地域の歴史や文化を知ることが地域を好きになる第一歩です。地域に残る史跡などは、東野を未永く守るための痕跡です。東野の発展を支えた方々を称えるものもあります。7月6日(土)には「古老に聞く」という企画が予定されています。東野の文化をつくり上げた方々の話を直接聞けます。時間がある方は午後から東野コミュニティセンターにお越しください。詳しくは7月の恵那市広報紙の配布時にチラシを入れます。



今年のほたる祭6/15は

人と人がつながる企画です

各イベントはキッチンカーに出店を依頼して行うことが主流になっています。しかし、今年度の「ほたる祭」は地域の方がお店を開いて、参加された方々に格安で売るといふ数年前までのやり方で行います。五平餅と焼きそば、綿菓子やかき氷やアイス、金魚すくいやゲームや玩具の販売など数年前までの内容で店を用意する予定です。五平餅や焼きそばやアイス、ラムネ等は100円を予定しています。金魚すくいは本物の金魚と模型の金魚の両方を用意して格安で行う予定です。ホテルを鑑賞するコースは昨年に何百匹もいた東野駅から西のコースを整備して歩きます。子どもから大人まで、多くの人とふれ合って楽しんでください。昭和のほたる祭が帰ってきます。

今年度のつどい・つながり・学ぶ東野地域の企画

◆企画第3弾「古老に学ぶ」

7月6日(土) 午後1時30分～午後3時00分
会場：東野コミュニティセンター 大会議室
テーマ (仮)シクラメンや養蚕で栄えた東野

◆企画第4弾「飯沼川でマスつかみ」

7月27日(土) 午前9時30分～10時30分
会場：飯沼川(中日サンクリーン前)
マスを350匹用意(予定) 一人何匹でもOK!
※東野に関係あるすべての園児・小学生を対象
東野に住んでいない外孫や親戚の子も参加できます。

◆企画第5弾「研修旅行」

9月14日(土) 午前8時集合 午後5時解散 予定
研修先は後日決定
参加費の予定 大人3,000円、こども2000円
※昼食も含めて格安の研修旅行です。昨年度は小中学生は9名参加しました。

◆企画第6弾「ふれあい餅つき」

1月25日(土) 午前10時～午前11時
会場：東野コミュニティセンターのロビー
杵と臼で餅をつきます。あんこ&きなこ餅を200食用意します。

歌舞伎公演・スポーツフェスティバル・WRCラリーなど、他にも地域住民がかかわる多くの取り組みがあります。

老若男女が
つながり、楽しむ

企画第2弾

ほたる祭

6月15日(土) 午後6時30分～午後8時ごろまで

雨天の場合翌日に順延

場所:東野コミュニティセンターがメイン会場
ホテル観賞:明知鉄道東野駅より西側の宮の前方面
午後6時30分～ 販売等開始



東濃蚕種製造所の鬼瓦



千藤一二三さんと水車



市川商店 大正後期前後の大門に雑貨屋あり

以前の「広報ひがし」で東野に昔あったお店の特集をしました。その情報を読まれて、上大門の市川三千子さんが、私の家も昔は市川商店という店でしたという情報を寄せていただきました。取材をすると頑丈な銭箱(ぜにはこ)と厚さが20センチメートルもある大正時代の通帳が3冊ありました。故市川光男さんの残された記録には「私の子供時代、家は両親が大門屋という雑貨屋を営んでいました。」とあります。

水車と東野小学校の鬼瓦などを寄贈

下沢の千藤一二三さんが東野小学校創立150周年記念展を開催するに当たって、「私の家に東野小学校や東野中学校の鬼瓦がいくつもありません。」という情報をいただきました。家に伺うと家の西側の塀に鬼瓦がいくつも積まれていました。中には東濃蚕糸の鬼瓦もあり、「蚕」の文字や「桑の葉」が彫られた鬼瓦もありました。摘んだ桑の葉を入れる大きな竹籠や米をつく水車もありました。取材した日には一二三さんのおばあさんも取材に応じていただき、嫁に来た時から水車小屋があり、長い間、米を水車でついていたことやCBCラジオのアナウンサーが「コットン、コットン」という音を録音に来たことなどを懐かしく語っていただきました。千藤一二三さんからは水車や鬼瓦をはじめ、昔の貴重な資料をいくつも東野郷土資料館に寄贈していただきました。



口コミ情報

6月の予定

4日	火	ひばり コミュニティロビーで喫茶
4・5日	火・水	東野小5年根の上研修
7日	金	安全パトロール巡回(交通安全協会)
8日	土	ふれんどリー跡地オープン記念式典
11日	火	恵那東中 中間テスト
12日	水	第2回ほたる祭実行委員会
14日	金	東野小 授業参観 安全パトロール巡回(生産森林組合)
15日	土	ほたる祭
16日	日	ほたる祭予備日
17日	月	街頭指導
19日	水	交通安全大学校
21日	金	安全パトロール巡回(東雲連合会)
25日	火	青少年育成会議運営委員会
26・27日	水・木	東野小 個別懇談
28日	金	安全パトロール巡回(青少年育成会議) シニア会 コミュニティのロビーで喫茶

7月の予定

1日	月	ちんぷいのこども園読み聞かせ
2日	火	ひばり コミュニティロビーで喫茶
1・2日	月・火	恵那東中 三者懇談
4日	木	交通安全大学校
5日	金	安全パトロール巡回(民生児童委員) 東野小 学校運営協議会
6日	土	古老に聞く講演会(市民三学東野委員会主催)
9日	火	ますづかみ実行委員会
11日	木	一斉街頭指導
12日	金	安全パトロール巡回(公務員OB)
16日	火	市民三学東野委員会
18日	木	第1回東野文化祭実行委員会
21日	日	小中学校・こども園幼児コース夏休み開始
22日	月	～26日までの5日間、小学校プール開放
26日	金	シニア会 コミュニティのロビーで喫茶
27日	土	ますづかみ
31日	水	青少年育成会議 夜間パトロール

※予定は変更になることもあります。



桜の花が終わり、体育館前の階段に積もるようになってきた蕊(しべ)を二人の女の子が登校時に掃除をしています。こうして自分から進んでできる姿を見ると東野小学校の子供たちが成長していることが分かります。

改装された体育館玄関前を自主的に掃除



東野地域で空き巣被害が多発！
地域を見守る後継者やボランティア不足！
4月23日(火)の東野青少年育成会議の総会前に恵那警察署 生活安全課の井上智之警部補を講師に研修会を行いました。東野は昨年度は恵那市内でも突出して「空き巣被害」が多かったことや防犯や地域の安全の取組みボランティアが全国各地で後継者不足になっている現状などを交えて、地域の安全や青少年育成について講話をしていただきました。